

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公開番号】特開 2001-70516 (P2001-70516A)
 【公開日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)
 【出願番号】特願 平 11-250167
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 25 日 (2006.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作に応じて変化する遊技状況において第 1 の条件が成立することに基づき、
 遊技盤に設けられた第 1 の装置において第 1 の所定の動作を実行する第 1 の動作実行手段
 と、

前記第 1 の所定の動作実行に際し、前記第 1 の装置において、特別の条件が成立した場
合に、前記遊技盤に設けられた第 1 の可変入賞装置を作動させ遊技者に有利な状態を発生
 させる第 1 の有利状態発生手段と、

遊技者の操作に応じて変化する遊技状況において第 2 の条件が成立することに基づき、
 遊技盤に設けられた第 2 の装置において第 2 の所定の動作を実行する第 2 の動作実行手段
 と、

前記第 2 の所定の動作実行に際し、前記第 2 の装置において、特別の条件が成立した場
合に、前記第 1 の可変入賞装置を作動させ遊技者に有利な状態を発生させる第 2 の有利状
 態発生手段と

を備えた遊技機であって、

前記第 1 及び第 2 の有利状態発生手段にてそれぞれ同時期に遊技者に有利な状態を発生
することを禁止する禁止手段を設けるとともに、

前記第 1 の有利状態発生手段にて遊技者に有利な状態が発生させられるに際し、遊技者
 に対し有利な状態を報知する第 1 の有利状態報知手段と、

前記第 2 の有利状態発生手段にて遊技者に有利な状態が発生させられるに際し、遊技者
 に対し有利な状態を報知する第 2 の有利状態報知手段とを設け、

前記第 1 の有利状態報知手段と、第 2 の有利状態報知手段とは互いに異なった報知を行
いうことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技者の操作に応じて変化する遊技状況において第 1 の条件が成立することに基づき、
 遊技盤に設けられた第 1 の装置において第 1 の所定の動作を実行する第 1 の動作実行手段
 と、

前記第 1 の所定の動作実行に際し、前記第 1 の装置において、特別の条件が成立した場
合に、前記遊技盤に設けられた第 1 の可変入賞装置を作動させ遊技者に有利な状態を発生
 させる第 1 の有利状態発生手段と、

遊技者の操作に応じて変化する遊技状況において第 2 の条件が成立することに基づき、遊技盤に設けられた第 2 の装置において第 2 の所定の動作を実行する第 2 の動作実行手段と、

前記第 2 の所定の動作実行に際し、前記第 2 の装置において、特別の条件が成立した場合に、前記遊技盤に設けられた第 2 の可変入賞装置を作動させ遊技者に有利な状態を発生させる第 2 の有利状態発生手段と

を備えた遊技機であって、

前記第 1 及び第 2 の有利状態発生手段にてそれぞれ同時期に遊技者に有利な状態を発生することを禁止する禁止手段を設けるとともに、

前記第 1 の有利状態発生手段にて遊技者に有利な状態が発生させられるに際し、遊技者に対し有利な状態を報知する第 1 の有利状態報知手段と、

前記第 2 の有利状態発生手段にて遊技者に有利な状態が発生させられるに際し、遊技者に対し有利な状態を報知する第 2 の有利状態報知手段とを設け、

前記第 1 の有利状態報知手段と、第 2 の有利状態報知手段とは互いに異なった報知を行うことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 の装置は、複数の図柄を変動表示可能な可変表示装置を備えとともに、

前記第 1 の有利状態報知手段により遊技者に対し有利な状態が報知される場合には、前記可変表示装置において所定の報知が実行され、

前記第 2 の有利状態報知手段により遊技者に対し有利な状態が報知される場合には、前記可変表示装置において前記所定の報知が実行されないことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 1 又は第 2 の有利状態発生手段にて遊技者に有利な状態が発生させられていない場合であって、前記第 1 又は第 2 の動作実行手段によって第 1 及び第 2 の所定の動作の一方が実行させられる場合には、他方の所定の動作の実行を所定期間無効とすることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記第 1 又は第 2 の動作実行手段によって第 1 及び第 2 の所定の動作の一方が実行させられたことに起因して、前記第 1 又は第 2 の有利状態発生手段にて遊技者に有利な状態が発生させられている間、他方の所定の動作の実行を無効とすることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の遊技機。